

科目名 Subject	色彩研究 Study of Colors		教員名	栗本 佳典	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
実践的教育	×				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	—		◎		
科目の概要	美容をはじめ、デザイン等さまざまな仕事で必要となる色彩の基礎の確認から応用までを学び研究します。 配色計画やイメージ表現、パーソナルカラーなどについて、カラーカードやポスターカラーを用いた実習を取り入れながら展開します。				
授業の目標	色相、明度、彩度、トーンといった色彩の基礎を十分に理解した上で、カラーシステムや配色計画について詳しく研究し、色彩を自由に使いこなすことができる。 また、様々なテーマからイメージを膨らませ色彩構成することによって、色彩計画の幅を広げ感性を豊かにする。パーソナルカラーでは、その人の性格や年齢、好みなどをリサーチし、似合う色を見つける能力を実践的に身につけるとともに、他の人にアドバイスすることができるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	展覧会やコンサートなどのチラシをたくさん集め、毎月8時間程度、それらの配色デザインを分析した配色資料集を作成し研究して下さい。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献				
評価方法	授業内容の理解度40％ 課題に取り組む姿勢40％ 課題作品の完成度20％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意					
本科目履修と関連する資格	資格名	パーソナルカラーディプロマ（タハライメージスタジオ）			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	色彩について	色彩学をふり返り、自分の知識を確認することで、今後学べき範囲が理解できる。	
第 2 回	色彩について	色彩学をふり返り、自分の知識を確認することで、今後学べき範囲が理解できる。	
第 3 回	色名	古代から現代までのさまざまな色名を認識できる。	
第 4 回	色名	古代から現代までのさまざまな色名を認識できる。	
第 5 回	マンセル色相	世界共通のマンセルカラーシステムを確認し、色相表を作りシステムを理解できる。	
第 6 回	マンセル色相	世界共通のマンセルカラーシステムを確認し、色相表を作りシステムを理解できる。	
第 7 回	PCCS トーン分類	PCCS トーンの表示方法を確認し、配色カードを使うことができる。	
第 8 回	PCCS トーン分類	PCCS トーンの表現方法を確認し、配色カードを使うことができる。	
第 9 回	CCIC トーン分類と色名	CCIC のトーン色を作成し、新たな色名を作り出すことにより発想力を得ることができる。	
第 10 回	CCIC トーン分類と色名	CCIC のトーン色を作成し、新たな色名を作り出すことにより発想力を得ることができる。	
第 11 回	カラーイメージデータ	多くの人のカラーイメージを知り、色彩イメージの効果的な演出力を高めることができる。	
第 12 回	カラーイメージデータ	多くの人のカラーイメージを知り、色彩イメージの効果的な演出力を高めることができる。	
第 13 回	パーソナルカラー基礎編	パーソナルカラーのコンセプトやシステムを理解することができる。	
第 14 回	パーソナルカラー基礎編	パーソナルカラーのコンセプトやシステムを理解することができる。	
第 15 回	パーソナルカラー応用編	パーソナルカラーにおける分析法やイメージ表現を身につけることができる。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 6 回	パーソナルカラー応用編	パーソナルカラーにおける分析法やイメージ表現を身につけることができる。	
第 1 7 回	パーソナルカラー実践編	より実践的なパーソナルカラーの分析力や応用力を身につけることができる。	
第 1 8 回	パーソナルカラー実践編	より実践的なパーソナルカラーの分析力や応用力を身につけることができる。	
第 1 9 回	絵画の配色分析	絵画作品の配色を分析し、様々な色彩表現があることを認識できる。	
第 2 0 回	絵画の配色分析	絵画作品の配色を分析し、様々な色彩表現があることを認識できる。	
第 2 1 回	配色技法	デザインでも使用される、さまざまな配色技法が出来るようになる。	
第 2 2 回	配色技法	デザインでも使用される、さまざまな配色技法が出来るようになる。	
第 2 3 回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第 2 4 回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第 2 5 回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第 2 6 回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第 2 7 回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第 2 8 回	課題研究	自分が決めたテーマについて調べることにより、これまで学んだことをブラッシュアップする。	
第 2 9 回	研究発表	自己の研究を発表することにより、プレゼンテーション能力を高めることができる。	
第 3 0 回	研究発表	自己の研究を発表することにより、プレゼンテーション能力を高めることができる。	